

女性医学的

アンチエイジング 最前線

女性の健康長寿を
満喫するために

入場
無料

定員500名

2012

3/3

土

千葉市文化センター
3F アートホール

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2丁目5番1号
TEL.043-224-8211

プログラム

司会 今村優理子 氏(リポーター・MC・コメンテーター)

開会 14:00

開会のあいさつ

千葉産科婦人科学会 会長

生水 真紀夫 先生

講演

閉経期以降の健康と豊かなセクシュアリティのために

国立病院機構千葉医療センター外来管理部
部長(産科医長兼任)

大川 玲子 先生

脳とこころのアンチエイジング

順天堂大学大学院医学研究科・加齢制御医学講座 教授

白澤 卓二 先生



大川 玲子 先生



白澤 卓二 先生

テレビで
おなじみ!

質疑応答・総合討論

総括

閉会のあいさつ

千葉産科婦人科学会・日本産婦人科医会千葉県支部 学術研修担当理事

梁 善光 先生

閉会 16:30

主催

千葉産科婦人科学会・
日本産婦人科医会千葉県支部

主唱

厚生労働省・日本産科婦人科学会・
日本産婦人科医会

後援

千葉県／千葉市

公益社団法人 日本産科婦人科学会／公益社団法人 日本産婦人科医会
社団法人 千葉県医師会／社団法人 千葉市医師会
社団法人 千葉県看護協会／一般社団法人 千葉県助産師会
社団法人 千葉県薬剤師会／千葉県病院薬剤師会
NPO法人 21世紀ウイメンズヘルス研究会
特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women

女性医学的

アンチエイジング 最前線

女性の健康長寿を
満喫するために

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会では毎年3月1日から8日までを「女性の健康週間」と定め、各県ごとにこの時期に市民公開講座を開催しています。千葉県では、今回このテーマとして「アンチエイジング」を取り上げてみました。

“アンチエイジング医学”とは抗加齢医学とも呼ばれています。加齢という生物学的プロセスに介入して、動脈硬化やがんのような加齢関連疾病の発症確率を下げ、健康長寿をめざすことを目的とする医学のことをいいます。加齢のメカニズムに関してはさまざまな説があり多くの謎がありましたが、最近の研究では食事・習慣(ストレス)がこれに関与することがわかってきています。わが国の政府主導のメタボリックシンドローム対策などは、これらのデータに基づいたものということもできます。

また、私たち産婦人科医が扱う女性医学の立場からみても、いわゆる美容医学の分野から更年期・老年期の分野までこのアンチエイジングは切っても切れない永遠の命題といっても過言ではありません。最近では女性に多い加齢関連疾患、たとえば骨粗鬆症や骨盤臓器脱に対するさまざまな治療法・予防法も広がってきています。今回は美容医学にはあまり触れませんが、健康長寿の女性になるための秘訣に対するみなさんの興味は尽きないのではないのでしょうか？

本公開講座では、これら“アンチエイジング”に関連するトピックスを一般市民の皆さんにご提供して、ひとりひとりが自分自身の老化と寿命に対して予防・ケアをすることの重要性を知っていただき、その中における産婦人科医の役割をお知らせするために、県内外のそれぞれの立場を代表する方々の講演を企画いたしました。

司会紹介



今村優理子 氏

リポーター・MC・コメンテーター

兵庫県宝塚市出身。

大学卒業後、私立高校の音楽教師として教壇に立つ。

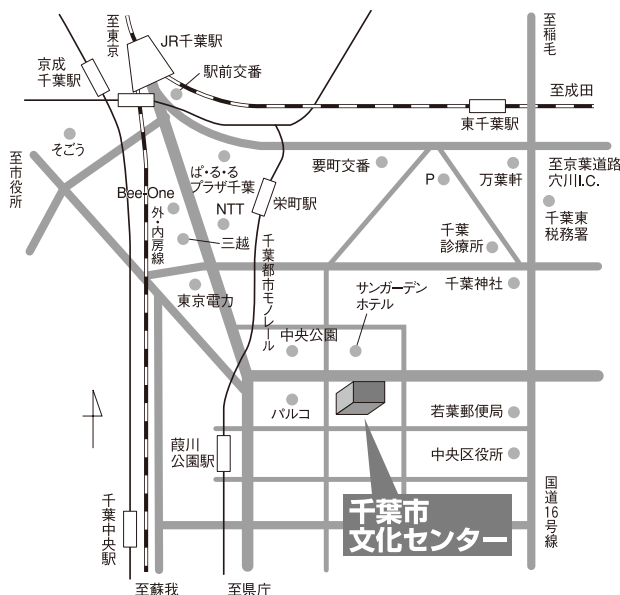
昭和53年4月から番組終了までの7年7ヶ月、テレビ朝日「アフタヌーンショー」のMC・リポーターとしてレギュラー出演。

その後、TBS「モーニングEYE」などワイドショーを中心に活躍。

平成4年に40歳で娘を出産。妊娠9ヶ月までリポーターとしてマイクを持ち、出産後2ヶ月で現場に復帰する。

これまでに、テレビ出演・ライブ活動・執筆活動・イベント等の司会・講演など、分野を問わず幅広く活躍している。

【著書】「ふたつの結婚指輪」(エッセイ)



アクセス

■電車をご利用の場合

JR総武線「千葉駅」、京成千葉線「千葉中央駅」より徒歩10分

■千葉都市モノレールをご利用の場合

「靄川公園駅」下車徒歩3分

■バスをご利用の場合

「千葉銀行中央支店前」バス停下車徒歩1分 / 「中央2丁目」バス停下車徒歩3分

■車をご利用の場合

京葉道路「穴川インターチェンジ」から約20分